



2022年9月29日

各 位

会社名 株式会社 ゼロ
代表者名 代表取締役社長 北村 竹朗
(コード番号 9028 東証スタンダード)
問合せ先 取締役グループ戦略本部長 高橋 俊博
(TEL. 044 - 520 - 0106)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月23日にスタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、その内容を開示しておりますが、2022年6月30日時点における計画の進捗状況を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の上場維持基準の適合状況は以下の表に記載の通りであり、流通株式比率における基準を充たしておりません。次期中期経営計画が終了する2027年6月末までに上場維持基準を満たすため、引き続きあらゆる可能性を検討した上で取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の状況 (2021年6月30日時点)	1,547人	22,608単位	28億円	12.8%
当社の状況 (2022年6月30日時点)	1,831人	15,713単位	16億円	8.9%
スタンダード市場の上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
当初の計画に掲載した計画期間				2027年6月末

- ※1 適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社提出の「株券等の分布状況等」をもとに判定を行ったもので、流通株式時価総額は、流通株式数に、事業年度の末日以前三ヶ月の日々の終値の平均値を乗じて算出しております。
- ※2 2021年6月30日時点の移行基準日における適合状況は、新市場移行後と異なり、役員以外の特別利害関係者に該当する第4位の株主である Zenith Logistics Pte. Ltd.の保有分(保有株式数 586,400株、保有比率 3.4%)を流通株式から除外せずに算出しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価 (2021年12月～2022年6月)

当社が2021年12月23日に公表した「新市場区分「スタンダード市場」の選択と上場維持基準の適合に向けた計画書について」において、主力事業である車両輸送業界で断トツのマーケットシェアを獲得することで企業価値向上を実現させることを取組内容として掲げておりましたが、2022年5月31日に株式会社 IKEDA の全株式を取得し連結子会社すると同時に、商号を株式会社ゼロ・プラス IKEDA に変更いたしました。300名以上の契約ドライバーを擁する同社をグループに加えたことにより、「物流の2024年問題」に伴うドライバーの人材不足への対応を見据えながら、輸送力強化による自走回送事業の顧客深耕・拡大、また輸送効率化・コスト削減などのシナジー創出に取り組むことで他社との差別化を図り、その結果として企業価値向上を実現させることで株式を売買しやすい環境を醸成してまいります。また、この取組が今後の企業価値向上に資するものと評価しております。

3. 上場維持基準に適合していない項目のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

A. 今後の課題

支配株主がいることに加えて、取引関係のある法人株主が多く、流通株式比率が低いこと。また、日々の出来高が低水準で推移しており、株式を売買しにくい環境であること。

B. 今後の取組内容

引き続き、企業理念である「品質」をあらゆる領域で向上させていくことで、主力事業である車両輸送業界で断トツのマーケットシェアを獲得すると同時に、成長分野であるヒューマンリソース事業、一般貨物事業、海外関連事業などへの積極投資を通じて、企業価値向上を実現させ、株式を売買しやすい環境を醸成してまいります。その上で、当社の株式を保有している金融機関などの法人株主の皆様に対して、株式の売却を広く呼びかけるなど、あらゆる可能性を検討した上で、流通株式比率の向上に資する施策を実行してまいります。

また、2022年6月期上半期決算説明会で公表した中期経営計画にて掲げた「物流の2024年問題への対応」、「EV化・グリーン化への対応」、「デジタル化への対応」を同業社に先駆けて進めてまいります。

「物流の2024年問題への対応」では、ドライバーの付帯作業などの間接時間を分業化によって削減することで、総労働時間を削減しながらも運転する時間を維持して、輸送力を確保してまいります。「EV化・グリーン化への対応」では、最大積載量を確保すべく新しく開発したキャリアカー「Zモデル」を順次導入することで、EV化に伴い自動車の重量が増していく中でも、積載率を落とさず輸送できる体制を構築してまいります。「デジタル化への対応」では、新しく立ち上げた輸送デジタル化推進室を中心にシステム投資を進めることで、計画的な配車を実現させて輸送効率・積載率を向上させてまいります。そして、上述の対応を進めることにより競争優位性を確保することで、車両輸送業界におけるリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものにしてまいります。

以 上